



各 位

2025年2月3日

会 社 名 稲畑産業株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 稲畑 勝太郎
(コード番号 8098 東証プライム市場)
問合せ先 執行役員 財務経営管理室長 農田 康一
(TEL. 050-3684-4007)

株式会社佐藤園の株式取得（子会社化）に関するお知らせ

当社は、以下のとおり、当社の連結子会社である大五通商株式会社（以下、大五通商）が、株式会社佐藤園（以下、佐藤園）の全株式を取得すること、及びその取得により当社が佐藤園を子会社化することについて決定し、1月31日に株式譲渡を実行しましたので、お知らせ致します。

1. 株式の取得の理由

当社は、2030年頃のありたい姿である長期ビジョン「IK Vision 2030」をめざす第3ステージとして、2024年4月より、2027年3月期を最終年度とする3カ年の中期経営計画「New Challenge 2026（以下、NC2026）」を推進しています。

NC2026における成長戦略の一つとして「投資の積極化による収益拡大」を掲げ、対象の事業領域として、再エネ、リサイクル等の環境関連ビジネス、食品等の生活産業ビジネスを挙げており、本件はこの戦略に沿ったものです。

生活産業ビジネスにおける食品分野では、農産品、水産品の栽培・生産から加工・販売に至るまで、当社グループが一貫してマネジメントを行う垂直統合型の体制を構築することで（川上・川下領域の強化）、シナジーの拡大や当社の機能及び付加価値の向上を図っています。

緑茶市場は、国内で安定した需要があるほか、海外への輸出を中心に伸長が続いており、特に欧米やアジア向けに拡販の余地が大きいと考えられます。

佐藤園は、茶の生産量が国内一の静岡県を中心に、主に茶の栽培・製造・販売を行っており、ECサイトやカタログ通販を通じた販売に強みを持っています。また近年、生活習慣ケアとして注目が高まっている機能性緑茶の販売も行っています。

今回、佐藤園の株式取得による子会社化によって、当社の海外ネットワークを活用し、アジア・欧米など海外への輸出による拡販を見込んでいます。

また、佐藤園のECサイトやカタログ通販の顧客基盤を活用し、2023年2月に子会社化した大五通商が取り扱ううなぎ加工品など、当社が国内外で調達する農水産加工品の相互販売に注力していきます。

2. 異動する子会社の概要

名 称	株式会社佐藤園
所 在 地	静岡県静岡市葵区大原1057
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 佐藤公彦
事 業 内 容	茶の栽培・製造・卸販売、茶及び食品の通信販売
資 本 金	10百万円
設 立 年 月 日	1991年12月

3. 今後の見通し

本件が2025年3月期連結業績に与える影響は軽微であると見込んでおりますが、今後開示すべき事項が発生した場合には速やかにお知らせ致します。

(ご参考) 当期連結業績予想 (2024年11月7日公表分) 及び前期連結実績

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
当期連結業績予想 (2025年3月期)	830,000百万円	24,000百万円	24,000百万円	20,000百万円
前期連結実績 (2024年3月期)	766,022百万円	21,190百万円	21,393百万円	20,000百万円

【ご参考】

- 中期経営計画「New Challenge 2026」
https://www.inabata.co.jp/investor/management/midterm_plan/
- 大五通商株式会社株式の取得（子会社化）に関するお知らせ
<https://ssl4.eir-parts.net/doc/8098/tdnet/2242337/00.pdf>

以上